

日本看護歴史学会 會報

日本看護
歴史学会
第52号
2009年7月15日

日本看護歴史学会 第23回学術集会の開催にあたって

学術集会長 内田 卿子（聖路加同窓会会長・元聖路加国際病院副院長）

日本看護歴史学会第23回学術集会の日が近づいてまいりました。今年は、8月20日（木）・21日（金）の2日間、東京の聖路加看護大学において開催されます。

メインテーマは「戦前戦後の看護の礎—看護教育と実践の発展をさぐる—」と致しました。奇しくも、今年は「日本の看護120年」の年にあたります。また聖路加看護大学の歴史も来年に創立90周年を迎えることとなります。

その中間点であった第2次世界大戦の終結年を境に、戦前戦後の看護教育と実践はどのように変遷し発展してきたのか、振り返り、これからの世界・社会の変化の中でどう対応すべきかを考える時間になればと願っております。



学術集会の第1日目のプログラムでは、会長講演として「聖路加国際病院における看護の歩み」をお話する予定です。聖路加国際病院創立から現在に至るまでの看護部における看護提供の変

遷について述べたいと思います。

日野原重明先生の特別講演では、「看護におけるケアの考え方の歴史」と題して、「看護」という言葉の由来やその意味、ま



た、用語やケアの考え方が時代とともにどう変化してきたのかを話される予定です。

教育講演は2題です。聖路加看護大学菱沼典子先生の「聖路加看護大学の歴史」と筑波大学名誉教授大濱徹也先生の「築地にはじまる女子教育」です。立教女学院・女子聖学院・聖路加高等看護婦学校はこの地で誕生しておりますが、明治維新以降の近代化の中で女子教育がどの様に誕生し発展してきたのか。御二人の御講演はきっと皆さんの関心を集めることと思います。

1日目の最後には聖路加看護大学界隈の歴史紹介と散歩のオプションをいれました。歴史的な土地を散策され、さまざまな分野の活動と発展を偲ぶ記念碑を、其処、此処にご覧下さい。

2日目の交流セッションには5つのテーマが準備されております。例年同様、活発な討議を期待しております。最後の教育講演には「キリスト教と医療」と題して立教大学名誉教授の関正勝先生のお話を予定しています。心配致しました演題数も、口演発表16題、示説発表18題が集まりました。有難うございます。

最終日のオプションは聖路加国際病院とチャペル見学です。また、全期間を通してパネル展示も予定しておりますので、こちらもお覧頂ければ幸いです。

暑い時期の学会ですが、多くの皆様の参加を心からお待ち申し上げております。

第23回学術集会プログラム

メインテーマ：戦前戦後の看護の礎—看護教育と実践の発展をさぐる—

会 期：2009年8月20日（木）・21日（金）

場 所：聖路加看護大学

会 長：内田卿子 聖路加同窓会会長、元聖路加国際病院副院長・総婦長

| 第1日目 2009年8月20日（木）聖路加看護大学 | | |
|---------------------------|-------------|--|
| 時 間 | | |
| 9：30～ | 受 付 | |
| 10：00 | 開会オリエンテーション | |
| 10：05～10：55 | 会 長 講 演 | 「聖路加国際病院における看護の歩み」 内田卿子（聖路加同窓会会長、元聖路加国際病院副院長・総婦長） 司会：三上れつ（慶応義塾大学看護医療学部） |
| 11：00～11：30 | 教 育 講 演 I | 「1927年の Alice C. St. John のレター」 菱沼典子（聖路加看護大学教授） 司会：芳賀佐和子（東京慈恵会医科大学医学部看護学科） |
| 11：40～12：50 | 懇 親 会 | 聖路加看護大学（2階ラウンジにて） ※申込が必要です（参加費2,500円） |
| 12：50～13：30 | 研究発表示説 | |
| 13：40～14：30 | 特 別 講 演 | 「看護におけるケアの考え方の歴史」 日野原重明（聖路加国際病院名誉院長、聖路加看護大学名誉学長） 司会：内田卿子（聖路加同窓会、元聖路加国際病院） |
| 14：40～16：00 | 研究発表口演 | |
| 16：10～17：00 | 教 育 講 演 II | 「築地にはじまる女子教育」 大濱徹也（筑波大学名誉教授） 司会：草刈淳子（神奈川県立保健福祉大学研究科） |
| 17：10～18：00 | オ プ シ ョ ン | 聖路加看護大学界隈の歴史紹介と歴史散歩 ※事前申込が必要です（先着40名）。 参加費は無料。 |

| 第2日目 2009年8月21日（金）聖路加看護大学 | | |
|---------------------------|-------------|--|
| 時 間 | | |
| 9：00～ | 受 付 | |
| 9：20～10：00 | 総 会 | |
| 10：10～11：40 | 交流セッション | |
| 11：50～12：40 | 教 育 講 演 III | 「キリスト教と医療」 関 正勝（立教大学名誉教授） 司会：岡山寧子（京都府立医科大学医学部看護学科） |
| 12：45 | 閉 会 宣 言 | |
| 13：00～13：30 | オ プ シ ョ ン | 聖路加国際病院見学 ※事前申込が必要です（先着30名）。 参加費は無料。 |

歴史研究の向上を目指して

研究活動推進委員会 山本 捷子

第2回大会における寺崎昌男先生の「歴史研究は研究室にこもらない」「足腰強く」「博覧強記」という言葉は初学者の私には印象深く残っています。本会は“アカデミックな看護歴史研究”を目指しています。入会動機や歴史への関心、研究に取り組む態度や知識は変化し、最近では学会報告数も増えていますが、そろそろ研究の質を評価するときに来ていると思われまます。研究の質と実践を左右する要因として研究費や時間、正規科目「看護史」が無いなどの外的要因もありますが、研究者の過去の事象に対する問題意識や関連知識、適切な史料収集とその解釈、その時代背景や根拠とする周辺領域への豊富な知識など、歴史研究の基本的な手法ならびに論文発表の良否など

が問われます。

第23回学会の交流セッションでは「これだけは備えておきたい～歴史研究方法のキーポイント」と題して分科会を計画しました。参加者自身の認識が覚醒され、研究への自発的意欲が高まり、地方分科会や仲間による研究会へ発展する契機となること、質の高い研究が報告されることを期待しています。

2009年8月21日（金）午前10時10分～11時40分、月澤美代子先生の基調講義の後にテーマ別グループワークを行います。人数制限（50人）のため事前申し込みが必要。（締切7月20日）。

連絡先は☎092-940-2382（山本研究室）
e-mail:s_yamamoto@fukujo.ac.jp

学会事務局ではありませんので、ご注意ください。

会場・地図

聖路加看護大学
東京都中央区明石町10-1



東京メトロ日比谷線・築地駅3番出口徒歩約3分
東京メトロ有楽町線・新富町駅6番出口徒歩約5分

〈お問い合わせ〉

日本看護歴史学会第23回学会
事務局 聖路加看護大学・大学史編纂資料室
渡部尚子

FAX：03-5550-2255

e-mail:kangorekishis@slcn.ac.jp

日本看護歴史学会第24回学術集会の開催にあたって

学術集会長 三上 れつ（慶應義塾大学）

日本看護歴史学会第24回学術集会は、2010年9月19日（日）・20日（祭日）の2日間、慶應義塾大学湘南藤沢キャンパスで開催する予定です。2010年は看護医療学部開設10年目（慶應看護92年目）にあたり、この記念すべき年に学術集会を開催させていただきますことに、関係者一同、心から感謝申し上げます。

本学では歴史研究に関心が高く、試みたい企画、取り上げたいテーマのアイデアが多々あり、最終テーマはまだ決定しておりませんが、慶應らしいことを提示したいと考えております。昨年は慶應義塾創立150年にあたり、学内外で数々の歴史的催しが行われております。歴史は、原点に立ち戻って過去を直視し、現地点を確認することで、未来をひらいていくのだということを実感しております。

わが国の看護教育と実践は、第2次世界大戦を境に発展して参りましたが、戦時下の看護は風化されつつあります。早急に資料を収集し、聞き取りをする必要性を感じています。また、その時代時代に行われていた看護活動が必ずしも史実として適切な形で遺されていない場合も少なくありません。先輩諸氏の看護活動を蓄積し、実学として看護の未来をひらいていくためにも、歴史研究における稗史や野史とその聞き取り調査方法、慶應看護が輩出した個人史等についても紹介できるよう計画しております。皆様の多数のご参加・ご発表をお待ち申し上げます。

お知らせ

■事務局からのお知らせ

平成20年度会員動向（平成21年3月31日現在）

1. 会員数 317名（特別会員1名を含む）
2. 入会者数39名
3. 退会者数81名（3年間会費未納退会者数26名を含む）
4. 住所不明の会員数14名

会費納入について（お願いとお詫び）

2月初旬に「会費納入のお願い」を会員の皆様に発送しました。まだ納入されていない方はその時に同封しました郵便払込票でご送金下さい。なお、事務局の会費納入データベースの未入力のため、一部の会員の方々には二重の請求をいたしました。ここに謹んでお詫びいたします。

■第25回学術集会予定

会 長 仲里幸子氏（沖縄カトリック中学高等学校）

開催地 沖縄県那覇市（沖縄県立看護大学）

会 期 平成23年8月26日（金）・27日（土）

※詳細は正式決定後、次号でお知らせします。

編集後記

企画・編集理事として、会報を担当しております。本学会も第23回の学術集会を開催する運びとなり、会員相互の一層のコミュニケーションを図ると共に、よりアカデミックな学会になるための情報提供に努めて参りたいと思います。（つ）

新入会員紹介（敬称略）

*（ ）内は会員番号

| | |
|---------------|--------------|
| 佐々木かおる（08027） | 青木 涼子（08038） |
| 大川美千代（08028） | 高屋 尚子（08039） |
| 天野 勢子（08029） | 光橋 幸子（09001） |
| 加納佳代子（08030） | 柳橋 礼子（09002） |
| 原田美穂子（08031） | 森 聖美（09003） |
| 田中ヨシエ（08032） | 奥宮 暁子（09004） |
| 松本 直子（08033） | 林 君江（09005） |
| 樋口 佳栄（08034） | 金子 潔子（09006） |
| 高橋 朋子（08035） | 小河 朋子（09007） |
| 長谷川博亮（08036） | 高橋 順子（09008） |
| 佐藤エキ子（08037） | |

日本看護歴史学会会報 第52号

企画・編集 高橋みや子（京都橋大学）

坪井 良子（国際医療福祉大学大学院）

発行責任者 山崎 裕二（日本赤十字看護大学）

印刷 有限会社 新和印刷

事務局 〒150-0012

東京都渋谷区広尾4-1-3

日本赤十字看護大学

山崎 裕二

TEL 03-3409-0613

e-mail yamazaki@redcross.ac.jp

川原由佳里

TEL 03-3409-0185

FAX 03-3409-0589（代表）

e-mail kawahara@redcross.ac.jp

学会HP <http://plaza.umin.ac.jp/~jahsn/>